

■目指すべき都市像のKPIについて（事務局案）

1. 【目指すべき都市像】世界に誇れる自慢の都市

	KPI	前々年	前年	現状値	目標値	出典
主 指 標	来阪外国人旅行者数	263万人 (H25)	376万人 (H26)	716万人 (H27)	(下記 参照)	日本政府観光局「訪日外 客数」、観光庁「訪日外国 人消費動向調査」を基に 算出
副 指 標	世界の都市総合ランキング (分野:文化・交流ランキング) 〔上段は世界、下段はアジアでの順位〕	31位 9位 (H25)	30位 9位 (H26)	28位 9位 (H27)	—	(一財)森記念財団 都市 戦略研究所「世界の都市 総合ランキング」
指 標	自分の住んでいる地域に愛着 を感じている府民の割合	64.2% (H25)	63.7% (H26)	74.2% (H27)	—	大阪府「将来ビジョン・ 大阪(全国・大阪府)に 関する調査」
	大阪が楽しいまちだと思っ ている人の割合(全国)	38.5% (H25)	37.6% (H26)	36.7% (H27)	—	大阪府「将来ビジョン・ 大阪(全国・大阪府)に 関する調査」

《来阪外国人旅行者数の目標設定について》

(参考) 国 「明日の日本を支える観光ビジョン(平成28年3月30日決定)」

H27実績 1,974万人 ⇒ H32目標 4,000万人 ※H32目標は、H27の約2倍

	2020年目標値	考 え 方
案1	1,200万人	国目標4,000万人×直近3年の府訪問率平均(29.9%⇒30%)
案2	1,300万人	2020年の国目標が2,000万人から4,000万人と倍増になったこと にあわせ、府・市の目標も現行目標650万人の2倍と設定
案3	1,400万人	2020年の国目標が、2015年実績の約2倍とされていることから、 府・市の実績716万人の約2倍と設定
案4	1,500万人	平成24年12月の「大阪の観光戦略」での目標設定の考え方を踏 襲し、国目標4,000万人×直近の府訪問率36.3%で設定

## 2. 【目指すべき都市像】安全で安心して楽しめる 24 時間おもてなし都市

	KPI	前々年	前年	現状値	目標値	出典
主 指 標	来阪外国人旅行消費額	1,854 億円 (H25)	2,659 億円 (H26)	5,781 億円 (H27)	(下記 参照)	日本政府観光局「訪日 外客数」、観光庁「訪日 外国人消費動向調査」、 大阪観光局「関空調査」 を基に算出
副 指 標	Osaka Free Wi-Fi 認証数	—	1,918,942 件 (H26)	4,873,259 件 (H27)	—	大阪観光局実績
標	24 時間営業店舗数、深夜 営業店舗数	—	—	2,369 所 (H26)	—	経済産業省「商業統計」 ※終日営業の小売業事 業所数

### 《来阪外国人旅行消費額の目標設定について》

(参考) 国 「明日の日本を支える観光ビジョン (平成 28 年 3 月 30 日決定)」

H27 実績 3 兆 4,771 億円 ⇒ H32 目標 8 兆円 ※H32 目標は、H27 の 2 倍超

【一人当たりの旅行支出】 H27 実績 176,167 円 ⇒ H32 目標 200,000 円

	人数	単価	計
考え方	来阪外国人旅行者数の目標値に よる	大阪観光局「関空調査」に よる H27 単価 (80,687 円) に、国の目標単価の伸び率 (113.5%) で見込む	
案 1	1,200 万人	91,580 円	1 兆 1,000 億円
案 2	1,300 万人		1 兆 1,900 億円
案 3	1,400 万人		1 兆 2,800 億円
案 4	1,500 万人		1 兆 3,700 億円

### 3. 【目指すべき都市像】多様な人材が集う観光・MICE都市

	KPI	前々年	前年	現状値	目標値	出典
主 指 標	国際会議開催件数	281件 (H24)	314件 (H25)	253件 (H26)	340件 (H32)	日本政府観光局「国際会議統計」
副 指 標	MICE外国人参加者数	19,866人 (H24)	23,327人 (H25)	27,360人 (H26)	—	日本政府観光局「国際会議統計」(C)、大阪観光局実績(I)
	インセンティブツアーの誘致・開催件数	43件 (H25)	39件 (H26)	51件 (H27)	—	大阪観光局実績 (H27は暫定値)
	インテックス大阪における展示会延べ使用面積	197万㎡ (H25)	238万㎡ (H26)	225万㎡ (H27)	—	インテックス大阪実績

#### 《国際会議開催件数の目標設定について》

平成21年 183件 → 平成26年 253件 : 過去5年間の増加件数 70件 (1年あたり14件)

↓

平成26年 → 平成32年の6年間で 253件 + (14件 × 6年) = 337件 → 340件

#### 4. 【目指すべき都市像】多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市

	KPI	前々年	前年	現状値	目標値	出典
主 指 標	延べ宿泊者数	2,388万人 (H25)	2,837万人 (H26)	3,037万人 (H27)	(下記 参照)	観光庁「宿泊旅行統計調査」
副 指 標	外国人旅行者平均宿泊日数	1.56日 (H25)	1.58日 (H26)	1.68日 (H27)	—	観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に算出
	外国人旅行者リピーター数	—	—	314万人 (H27)	—	日本政府観光局「訪日外国客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」、大阪観光局「関空調査」を基に算出

#### 《延べ宿泊者数の目標設定について》

(参考) 国 「明日の日本を支える観光ビジョン(平成28年3月30日決定)」

『地方部(三大都市圏以外)での外国人延べ宿泊者数』

H27実績 2,514万人泊 ⇒ H32目標 7,000万人泊

※H32目標は、H27の3倍弱

	外国人	日本人	計
考え方	来阪外国人旅行者数の目標値の伸び率(うち、25%は地方部への分散)で見込む	過去3年間(H25/96.5%、H26/113.3%、H27/96.5%)の平均前年伸び率(102.1%)で見込む	
案1	1,127万人 8,965,670人(H27) × $\frac{1,200 \text{ 万人}}{716 \text{ 万人}} \times 0.75 =$ 11,269,697人	2,374万人 21,400,410人(H27) × 102.1% × 102.1% × 102.1% × 102.1% × 102.1% = 23,743,832人	3,500万人
案2	1,221万人 8,965,670人(H27) × $\frac{1,300 \text{ 万人}}{716 \text{ 万人}} \times 0.75 =$ 12,208,838人		3,600万人
案3	1,315万人 8,965,670人(H27) × $\frac{1,400 \text{ 万人}}{716 \text{ 万人}} \times 0.75 =$ 13,147,980人		3,700万人
案4	1,409万人 8,965,670人(H27) × $\frac{1,500 \text{ 万人}}{716 \text{ 万人}} \times 0.75 =$ 14,087,121人		3,800万人